

2026年2月13日
株式会社ラクト・ジャパン

当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社は、持続的な成長や企業価値の向上と、「世界を食で繋ぎ、人々を健康に、そして笑顔にする」というパーカスの実現を両立することが株主の皆さま、お取引先、従業員などすべてのステークホルダーの期待に応えるものと考えております。そのための基盤として、コーポレート・ガバナンスを確立することは経営上の最重要課題の一つであると捉え、「コーポレート・ガバナンスに関する基本方針」を策定し、着実に実行してまいりました。当基本方針第5章第20条では、取締役会全体の実効性について、毎年各取締役の自己評価なども参考にしつつ分析および評価を行うことを定めております。この定めに則り、この度、2025年度の取締役会において実効性評価を実施し、分析・評価を実施いたしましたので、以下のとおりその概要をお知らせいたします。

1. 分析・評価の方法

2025年度は昨年同様、透明性・客観性の確保を目的として、外部機関にアンケート集計・評価分析を委託しております。全評価者が外部機関に直接回答することで、匿名性を確保しました。集計ならびに分析結果は2026年2月の取締役会に報告され、議論を行いました。

アンケート実施期間 2025年12月～2026年1月

評価者 取締役 6名、監査等委員 4名 計10名

2. 評価項目

「取締役会の実効性評価」アンケートの大項目は以下のとおりです。

- | | |
|-----------------------|---------|
| ① 取締役会のあり方、構成と運営 | (質問数8問) |
| ② 経営戦略と経営計画 | (質問数5問) |
| ③ 内部統制とリスク管理 | (質問数3問) |
| ④ 指名・報酬、社外取締役のパフォーマンス | (質問数5問) |
| ⑤ 株主等との対話 | (質問数2問) |
| ⑥ 自身の取組みと指名報酬諮問委員会の評価 | (質問数6問) |
| ⑦ 総括 | (質問数2問) |

質問数 計31問

3. 分析・評価結果の概要

各質問の評価尺度は5段階評価とした上で、全取締役の評価平均値が4.3以上であることから取締役会の実効性は概ね確保されていると判断いたしました。

【評価尺度】

5:十分 4:おおむね十分 3:どちらともいえない 2:やや不十分 1:不十分

また、前回評価の改善点につきましては進捗を認められたものの、引き続き改善の指摘もありました。

① 中長期戦略の実現による企業価値の向上

策定した中期経営計画の実現に向け、重要課題について多様な視点からの議論を一層充実させる。照準を明確化し、戦略と計画の執行状況を継続的に評価・監督を行い、中長期の経営課題の解決と企業価値の向上につなげていくべきである。

② サステナビリティの取組みの推進と監督

中期経営計画で更新したマテリアリティの進捗を定期的に確認し、関連する施策について取締役会での議論を深化させる。非財務情報の開示体制の充実を進め、財務影響との関連を踏まえた統合的な監督を行うべきである。

③ 人材戦略のあり方と適切な監督

人事制度・研修制度の運用状況を注視しつつ、中長期の経営戦略と整合した戦略として人材戦略を位置づける。現状・課題・今後の展開について個別テーマを設定し、継続的に議論を深化させ、監督・評価を強化していくべきである。

4. 今後の取組み

上記評価のとおり、当社取締役会は概ね適切に機能しており、その実効性はこれまでの取組みにより、着実に向上していることが確認できました。一方で、上記の改善点に加え、資本収益性や株価の向上に向けた取組みの推進についても、引き続き取締役会での議論・監督を進め、企業価値向上に務めてまいります。

以上